

住まいの役割について考えよう

- ① もしも住まいがなかったら、どのようなことで困りますか。自分や家族の1日の生活を振り返りながら考えましょう。

- ② 次のイラストを参考に、住まいの役割をまとめましょう。



- ③ それぞれの住空間で行われている生活行為を挙げましょう。

| 住空間 | 家族共有の空間 | 生理・衛生の空間 | 家事作業の空間 | 移動と収納の空間 | 個人生活の空間 |
|------|---------|----------|---------|----------|---------|
| 生活行為 | | | | | |

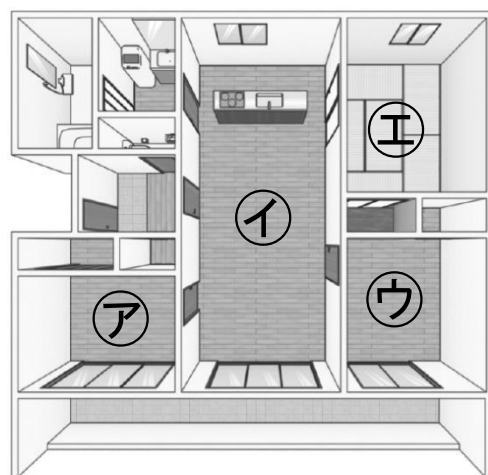
家族の生活と住まい方を考えよう

- ① 家族や共に暮らす人々みんなが心地よく過ごすためには、どのようなルールが必要だと思いますか。快適性・安全性を配慮しながら考えましょう。

- ② 右の間取りの住まいには次の家族が住んでいます。
父（43歳）、母（42歳）、姉（13歳）、妹（10歳）

- ① 誰がどの部屋を何に使うか考えましょう。

| | 誰が | 何をするか |
|---|----|-------|
| ア | | |
| イ | | |
| ウ | | |
| エ | | |



- ② この家族に、新たに1人が住まうことになりました。次のア・エのどちらかを選び、どのような部屋の使い方をすればよいか提案してみましょ。

ア 年が離れて生まれた弟（0歳） エ 遠方から来た健康な祖母（73歳）

選んだ番号 （ ）

●部屋の使い方

- ③ この家族の②から5年後の生活を想像して部屋の使い方を考えてみましょう。

日本の住まいと住まい方の特徴を考えよう

① 日本の住まいと住まい方の特徴について、() に適切な語句を入れてまとめましょう。

日本の伝統的な住まいでは、() で日差しの強い夏に対応するために軒やひさしがあります。その一方で、冬は太陽が南中するときの高さが夏に比べて低くなるため、軒やひさしがあっても部屋の奥まで暖かな日光が差し込むようになっています。また、障子やふすまなどの引き違いの戸は() といい、開ける部分の面積を調整することで、取り入れる風の量を調整することができます。蒸し暑い夏を涼しく、寒さの厳しい冬を暖かく過ごすための工夫です。更に、玄関で() を脱いで家の中に入り、畳や床に直接座るのが() の住まい方の特徴です。() には保温性と吸湿性があるため、冬は暖かく、夏はさらりとした感触が心地よく、日本の暮らしに適しています。日本の住まいや住まい方は、() や地域の() に合わせて各地でそれぞれ工夫されてきました。

② 和式と洋式の住まいや住まい方の特徴について書きましょう。



③ 自分の住んでいる地域の住まいの工夫や特徴をまとめましょう。

①気候風土や環境など、地域の特徴

②住まいの工夫や特徴

自己
評価

▶日本の住まいの特徴や住まいと気候風土との関わりについて理解できましたか。

(A ・ B ・ C)

健康で快適な室内環境について考えよう

- ① 健康で快適に住まうためには、どのような工夫が必要か挙げましょう。

- ② 室内空気が汚れることによる健康被害について、() に適切な語句を入れてまとめましょう。

住まいが原因となって起こる体調不良を()といい、主に化学物質を原因とするものを指します。個人差もありますが、さまざまな症状が現れます。また、ガス湯沸かし器やガスコンロ、石油ストーブなどの不完全燃焼によって発生する()は、僅かな量でも命に関わる重大な健康被害をもたらします。これらの室内空気の汚染対策には()が重要です。()を使ったり、窓を開けたりして新鮮な空気を取り入れましょう。

- ③ 家庭で起こりそうな室内環境についての問題や課題を見つけて、健康で快適に住まうための解決策を考えましょう。

| 問題・課題 | 解決策 (どうしたらよいか考えましょう) |
|---------------|-----------------------|
| 例 浴室にカビが見られる。 | 通風, 換気を行い, 温度と湿度を下げる。 |
| | |

- 自分が実践したい解決策をまとめましょう。



自己
評価

▶健康で快適な室内環境について理解できましたか。

(A ・ B ・ C)

▶健康で快適な室内環境について考え, 整え方を工夫できましたか。

(A ・ B ・ C)

家庭内事故の現状と予防について考えよう

① 子どもの視界体験でどのようなことに気が付きましたか。

② 家庭内で起きやすい事故を予想しましょう。

教科書の p.172~173 の図や, 子どもの視界体験, 高齢者体験を参考にしましょう。

| 番号 | 場所・物 | 起きやすい事故の具体例 | 改善策 |
|----|------|-------------|-----|
| ① | | | |
| ② | | | |
| ③ | | | |
| ④ | | | |
| ⑤ | | | |
| ⑥ | | | |

③ ②の危険の中で, バリアフリーやユニバーサルデザインで改善できるものを書きましょう。

| 番号 | 改善案 |
|----|-----|
| | |
| | |
| | |

④ あなたが使用する生活空間で安全に暮らすために, あなたが実践できることを書きましょう。

自己
評価

▶家庭内事故の危険性について理解できましたか。

(A ・ B ・ C)

▶家庭内事故の予防や対策を考え, 家族が安全に暮らせるように工夫できましたか。

(A ・ B ・ C)

地域の災害と防災・減災について考えよう

- ① 私たちの住む地域では、どのような災害が起こる可能性があるでしょうか。

- ② 地域で発生する可能性のある災害について、どのような備えが必要か、具体的に考えましょう。

| 発生する可能性のある災害 | 対策 | その他の災害にも共通する備えには○を付けましょう |
|--------------|----|--------------------------|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

- ③ 災害に備えて、自分にできることを挙げましょう。

自己
評価

▶自分の住む地域の災害の危険性について理解できましたか。

(A ・ B ・ C)

▶地震など災害への備えについて考え、対策を工夫できましたか。

(A ・ B ・ C)

持続可能な社会と私たちの住生活，地域を見つめ直そう

- ① これまでの学習を参考に，自分や家族が安全で心地よく生活するためにできる工夫について考えましょう。

- ② 現在の住まいに長期的に住むと考えたときの問題点，課題は何でしょうか。

- ③ 地域ならではの工夫や課題はどのようなところにあるでしょうか。

- ④ 持続可能な住生活について，20年後の自分から現在の自分に提案しましょう。

- ⑤ 現在の自分が，20年後の住環境のためにできることを考えましょう。
